

エネルギーの未来をつくるのは君だ！

政策提案型

パブリック
デイバート
全国大会

出場校勉強会

はじめに


こちらの資料は、ウェブサイトで配布している『全国大会ルール』
『全国大会ガイドライン』などをもとにお話をします。
ダウンロードしてご利用ください。




<https://energy-kyoiku.meti.go.jp/debate2024/>


政策提案型パブリック・ディベート全国大会 募集要項 


参加申込書 

政策提案届出書 


テーマ「エネルギー政策」 

全国大会ルール 

全国大会ガイドライン 

全国大会ワークシート 

参加申込書の記入例 

政策提案届出書の記入例 

政策提案型パブリック・ディベート全国大会は、
論証を重視するディベートとは異なり、**一般視聴者にも聴き取りやすく、
理解が容易なスピーチを展開し、**社会問題を解決するための政策について
討論することを通じて、国民として直面している社会問題について考察を深め、
参加者のみならず視聴者も含めた関心を喚起する場を提供することを
目的とする。（『全国大会ルール 1.目的』を参照）

各チームは**政策を求める問い**に応じて、**国や地方自治体等が採用すべき
公共のための政策を提案し、互いに政策の質を高め合う**ように議論する。
（『全国大会ルール 3.（1）』より抜粋）



テーマ

「エネルギー政策～エネルギー安定供給と脱炭素社会の実現の両立～」

「2050年カーボンニュートラル」という国際公約を掲げる日本にとって、クリーンエネルギーへの転換は避けて通れない道です。

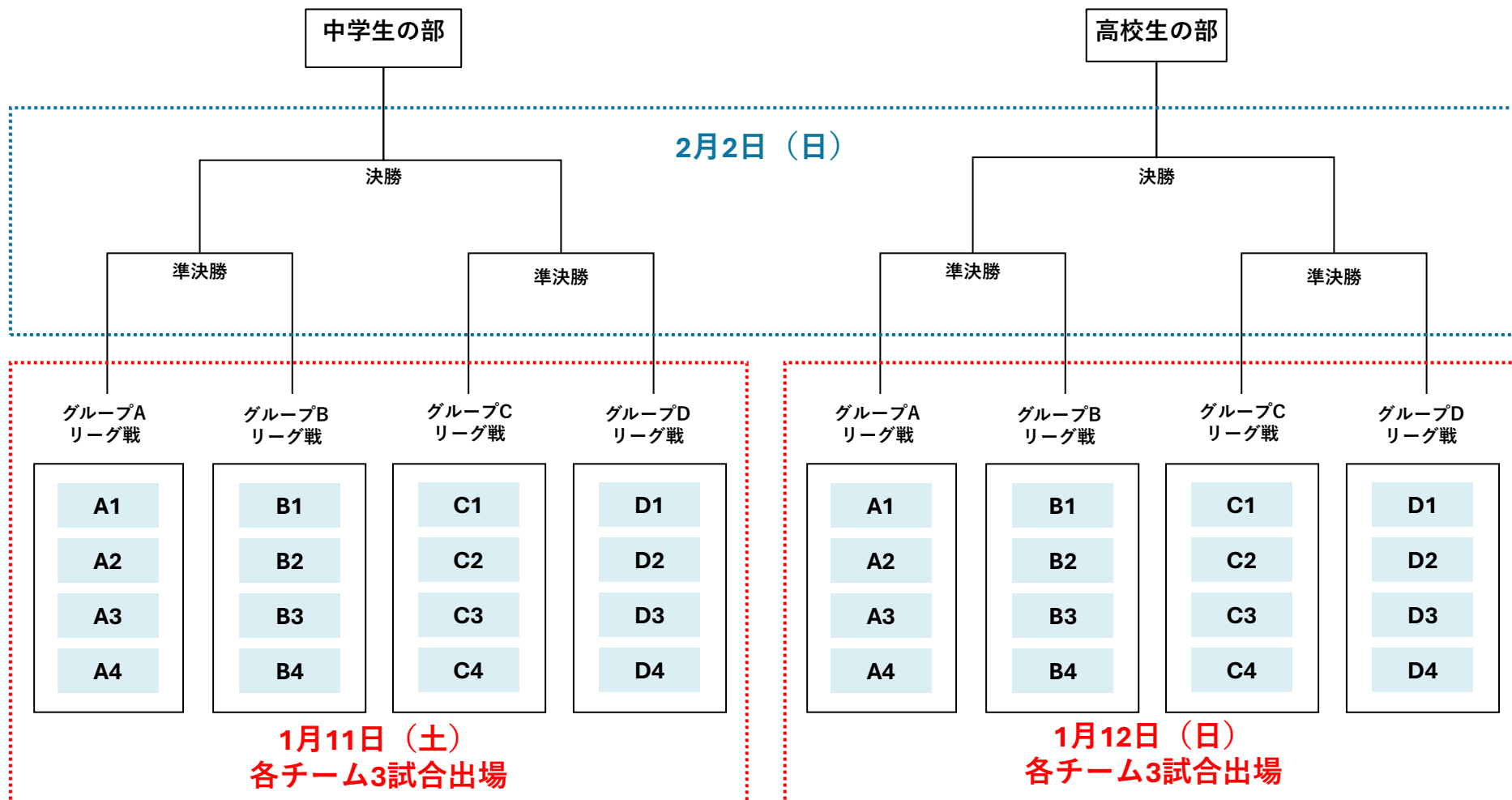
他方、足下をみると、ロシアによるウクライナ侵略などによるエネルギー安定供給確保の不確実性の高まりや、GX（グリーントランスフォーメーション）の推進など、エネルギーをめぐる情勢は昨今大きく変化しています。また、データセンターや半導体工場の新増設等により、今後、電力需要が大きく増加する可能性も指摘されています。

こうしたエネルギーをめぐる変化も踏まえ、「2050年カーボンニュートラル」という国際公約につながりうる、エネルギー安定供給と脱炭素社会の実現を両立させるための政策として、国や地方自治体等が、国民の生活や産業で広く取り組める斬新な政策の提案を行ってください。

政策提案型パブリック・ディベート 全国大会の試合について

試合（令和6年1月11日・12日・2月2日）

全国大会の「試合」は中学生の部及び高校生の部でそれぞれ実施します。
書類審査を通過した16チームが全国大会の「試合」に進みます。



試合の各ステージの構成

■試合・予備（46分＋4分）

試合は全国大会ルール及びガイドラインに基づき行います。
各ステージの発言者は、審判の合図に従ってスピーチを開始してください。
ステージ2と4（質疑・意見交換）では、1チームの選手は1～2名ですが、
話をする時は一人ずつ話をしてください。

ステージ	主体	内容	時間
ステージ1	先攻	先攻チームの政策提案	5分
準備		後攻チームの準備時間	2分
ステージ2	後攻	先攻チームの政策に対する質疑・意見交換	6分
ステージ3	後攻	後攻チームの政策提案	5分
準備		先攻チームの準備時間	2分
ステージ4	先攻	後攻チームの政策に対する質疑・意見交換	6分
準備		再提案の準備時間	10分
ステージ5	先攻	先攻チームの再提案	5分
ステージ6	後攻	後攻チームの再提案	5分

※各ステージの構成は『全国大会ルール3.（2）』に記載されています。

試合の流れ

各ステージの構成は「募集要項」に図解していますので参考にしてください。

ステージ1 先攻チームの政策提案 5分間

原稿を準備してのぞみましょう。 図を用意して
5分間のスピーチは1,500字程度です。 掲示できます。

控えの選手は
選手席に

ステージには
1~2名が
登壇します。



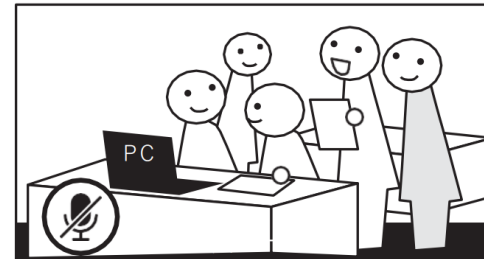
聞き取りやすい
スピーチで評価点UP!



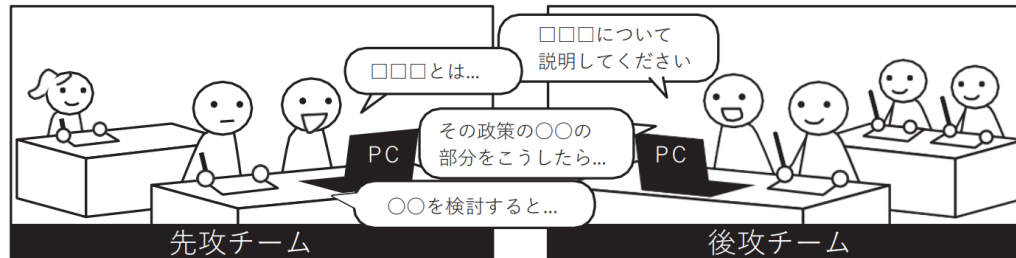
相手チームの意見をよく聞いてください。



後攻チームの準備時間 2分間 (選手の交代や、このステージを担当しない選手も参加しての話し合いができます。)



ステージ2 先攻チームの政策に対する質疑・意見交換 6分間



ステージ1 先攻チームの政策提案 5分間

原稿を準備してのぞみましょう。
5分間のスピーチは1,500字程度です。

図を用意して
掲示できます。



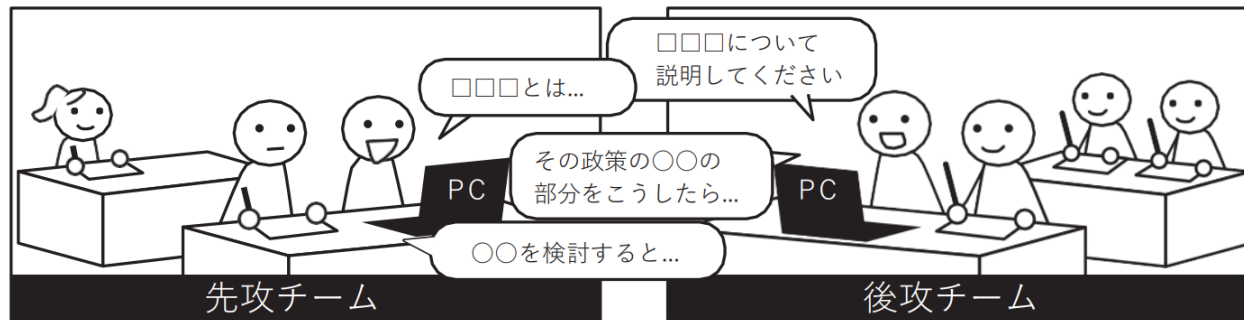
※各ステージの構成は「募集要項」に図解していますので参考にしてください。

次のような構成が考えられます（5分間）。

- ① ロードマップ：何をいくつ、どのような順序で述べるかという構成を知らせること
- ② 現状分析：政策を求める問いを受けて取り上げる社会問題の現状を分析すること
- ③ ビジョン：提案する政策を支える理念や価値観（理想的な社会像）を明確に述べること
- ④ 政策の内容：国などが採用すべき公共のための政策の内容と理由を具体的に述べること
- ⑤ **政策の効果：政策を実現するための計画と生まれる効果を述べること**
- ⑥ 内容の確認：政策提案を振り返り、重要な内容を強調すること

提案する政策の名称は①または④の適切なタイミングで伝えてください。

ステージ2 先攻チームの政策に対する質疑・意見交換 6分間



※各ステージの構成は「募集要項」に図解していますので参考にしてください。

Point!

かみあった議論が最も現れるステージです。

議論に必要な論点を増やして、議論を豊かにすることが必要で、相手の意見を否定してやりこめることではないということに注意してください。

ステージが進むと、意見交換の時間はありません。

相手の提案に対して言いたいことは、この意見交換のステージで言ってください。

相手の政策をよく聞き取り、記録をとっておくことがかみあった議論に必要です。



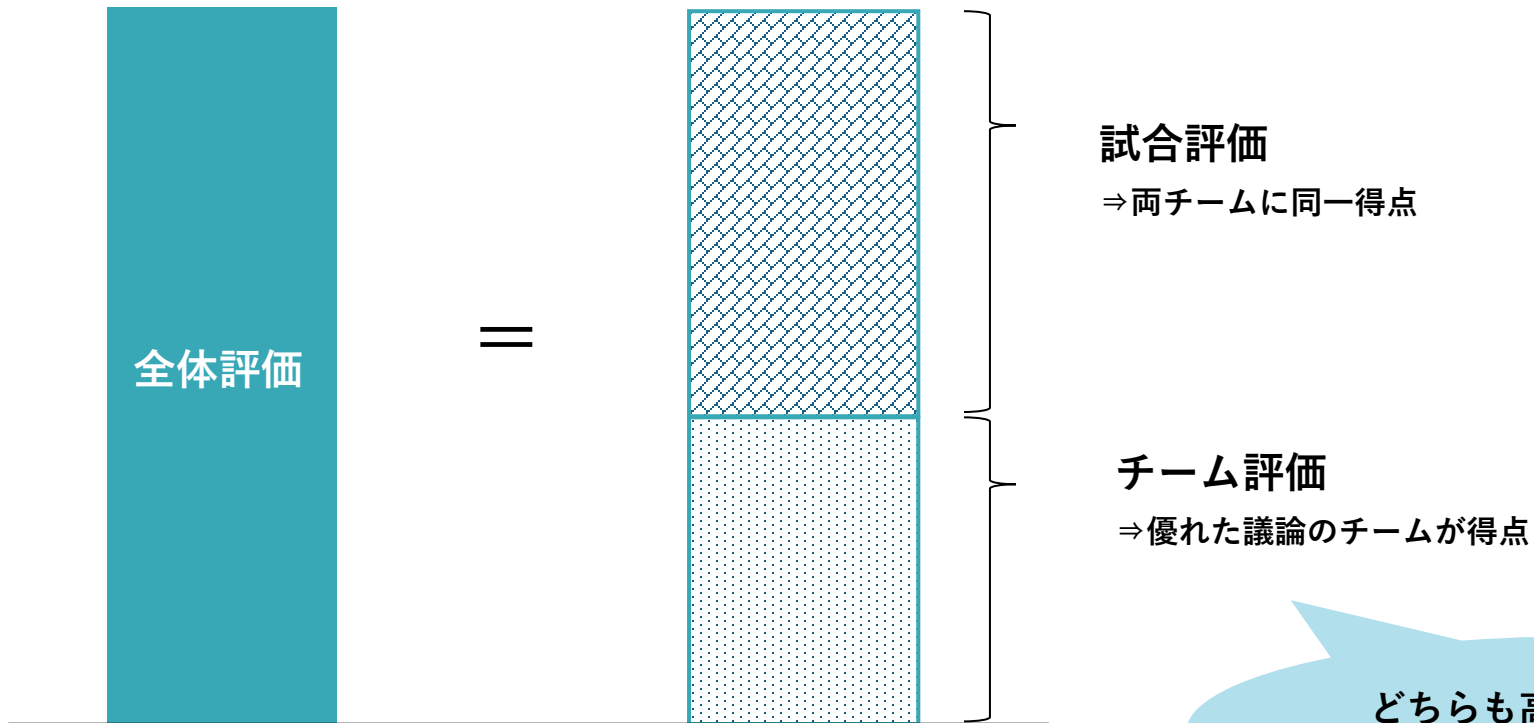
これまでのやりとりを踏まえて、自分のチームの政策を磨き上げ、重要性を示すステージです。次のような構成が考えられます（5分間）。

- ① 質疑と意見交換の確認：当初の政策提案についての質疑と意見交換を振り返ること
- ② 論点明示：①に置いて明らかになった意見の違いや対立点を論点として明確に示すこと
- ③ 政策の再提案：論点の重要度に応じて、当初の政策を改善して再び提案すること
- ④ 政策の重要度の明示：両チームの現状分析に立ち戻り、再提案した政策が相手チームの政策より効果が高いことの理由を示すこと
- ⑤ 挨拶：相手チーム及び審判、聴衆に対する謝辞

パブリックディベートの評価

パブリックディベートは2種類の評点の合計が高い方が勝者

全体評価 = 試合評価 (最大5点) + チーム評価 (合計3点)



Point!

どちらも高得点を目指す
ことが大切!

両チームがどれだけ良い試合をできたか（両チーム同一点で最大5点）

1

聞き取りやすいか（声量・スピード）

異常にゆっくり話す必要はないですが、**聴衆が聞き取りやすい**スピードと声量を意識しましょう。一度、自分のスピーチを録音して聞いてみるのがオススメ！

2

協調的な試合か

相手チームの議論を否定するだけでなく、**気付きを与えることを意識**してみましょう。質疑と意見交換の時間を有効に活用！

3

議論に深まりがあるか

相手チームの**重要な論点を指摘**できているか。質疑と意見交換/再提案で考えてみる！

4

根拠に基づいた議論か

根拠のある議論をしているか。効果試算や議論の裏付けをしっかりとしましょう。



自チームが、どれだけ良い議論をできたか（審判1人につき1点）

1

現状分析や効果や理念(価値観)の提示

現状分析や理念、効果は、**根拠をもって**しっかりと提示しましょう。



2

重要な論点の指摘

相手チームの重要な論点に対して積極的に指摘し、**両チームの政策を深めている**かどうか。

3

再提案でのよりよい政策の改善と優位性

相手の意見を受け入れるだけでなく検証を加え、必要に応じて自らの政策の改善に生かしているか。相手チームの政策を理解したうえで、**自チームの政策が優れていると主張**できているか。

4

相手の議論を引用したかみ合った議論

相手チームの議論を理解したうえで、引用して、かみ合った議論をしているか。

全国大会ガイドライン2. (1)

各ステージにおけるスピーチは、聴き手である審判、相手チームのメンバー、及び聴衆の反応に即して行うようにする。**聴き手がうなずいたり、メモを取ったりなどする様子を確認しながら、それらに応じてスピーチを展開しなければならない。**聴き手がスピーチに集中して理解を深められるように導くことは、スピーチを行う者の責務である。

両チームのスピーチが声量や速度、話し方に配慮して聞き手に聞き取りやすく、分かりやすいものになっているかに注意してください。

Point!

ディベート未経験者にも好感を与えるように、**聞き手（相手チーム、審判、聴衆）を強く意識する**必要があります。適切な声の大きさや発音を配慮し、聞き手に向かって目や表情でも語りかけるようにしてください。

また、スピーチのスピードは、1分間に300～400字程度とすることが望ましいです。ゆっくり話すには、内容を絞り込み、構造の明確なスピーチを準備することが前提となります。



試合の始め方

- ・ 試合はオンラインで行います。接続時間になったら、トップページから各校の試合会場となる「ルーム1」～「8」のいずれかをクリックして接続してください。
- ・ 準備時間になったら、主審から登録選手の確認、試合についての注意があります。各選手は、氏名と担当するステージを宣言します。これは、最終的な音声確認を兼ねたものになります。
- ・ 各ステージの発言者は、審判の合図に従ってスピーチを開始してください。

通信トラブルのとき

- ・ 引率者がミュートを解除して『聞こえません』と声をかけて試合を止めて下さい。
- ・ 選手はカメラに向かって手をクロスさせ×点（バツテン）を示してください。
- ・ 主審が、試合の進行を止めます。計時担当が計時を停止します。
- ・ 通信トラブルが回復したら、主審の判断した箇所から、試合を再開します。



トラブルが改善しない場合

- ・ Microsoft teamsアプリケーションやPC、Wi-Fiルーターの再起動を行ってください。
- ・ 別途お送りしている、大会のしおりに記載の「緊急連絡先」へご連絡ください。
- ・ 大会運営に支障が生じる場合は、状況を踏まえて大会本部で協議の上、抽選等により勝敗を決定する場合があります。

【お問い合わせ先】

エネルギー教育推進事業事務局

Email : jimukyoku@energy-kyoiku.meti.go.jp

TEL : 080-7520-8630(月～金10:00～17:00) ※大会当日はつながりません

Q1：持ち込めるものに電子端末は含まれますか。（電子端末は持ち込み可能か）

A1：ルール6.禁止事項 ①、②を参照

試合の進行に必要であれば持ち込み可能ですが、通信機能の使用は禁止です。

※クラウドに保存した資料の閲覧は不可です（通信作業が含まれるため）

※必要資料はあらかじめDLし、PC内に保存するかプリントアウトしてください。



全国大会
ルール

6. 禁止事項

次の事項を禁止する。悪質な場合、審判の協議によりその試合を敗戦にすることがある。

- ① 選手が、試合中にチームの選手以外の者とインターネットを利用して相談すること。
- ② 選手が、試合中に試合の進行に関わる以外に通信環境を利用し、インターネット上のサイトを閲覧したり、検索したりすること。

Q2：今回の大会はマイクロソフトのTeamsで行うのですか。

A2：マイクロソフトのTeamsで実施予定です。

接続については「大会のしおりp13～」をご確認いただき、ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

Q3：第5、第6最終ステージの最終弁論について、質疑や意見交換などで出た議論を中心に最後の議論をまとめることになるとと思いますが、最終弁論で新しい話題や議論を提供することは可能でしょうか。
(第3、第4の意見交換では出ていないが、気づきで得たテーマを最終の発表で提案することは可能か。)

A3：気づきで得たということを審判に説得することができれば理屈上は可能です。しかし政策提案のステージに出されたものがベースになると審判は理解するので、脈絡のない状態で最後に出すのではなく政策提案の最初の段階で出した方が望ましいです。試合中での気づきから再提案するのであれば、審判にそれがわかるように提案する必要があります。

政策提案についてのルール「4勝敗の判定と順位決定②のア」参照

② チーム評価は、以下の5つの観点で、政策提案を比較する。審判は、より優れた提案であると評価したチームに投票する。複数の審判が投票し、1票を評点1として、合計点数を当該チームの評点とする。
ア 政策を求める問いに対して、以下の点を満たしながら、政策提案のステージで実行可能で効果的な政策を具体的に提案していること。

- a 客観的な文献や資料等をもとにしながら、探究しようとする課題に関する現状の問題を分析していること。
- b 政策を支える大事な理念や価値観を明確に示していること。
- c 具体的な根拠を示しながら、現状の問題を解決するために必要な政策の導入理由や政策の効果も示していること。



全国大会
ルール

Q4：資料提示はA4サイズ1枚とありますが、昨年度複数枚提示していた学校がありました。

A4：「ガイドライン 5. 表現と態度について (2) 政策提案の際の掲示物」参照
政策提案の際にA4からA3サイズのパネル1枚を用いてイラストや図を審判や聴衆に示して説明することができる。と記載されているのでこのガイドラインに沿ってください。

**Q5：試合時、引率者と生徒は同じ場所にいる必要がありますか。
引率者が生徒と別の場所からオンライン参加することは可能でしょうか。**

A5：別の場所からの参加で問題ありません。
その際は別途事務局に事前にご連絡をお願いいたします。